

## 1. ねらい

- (1) 米国「C3 フレームワーク」に準拠した「探究デザインモデル Inquiry Design Model (IDM)」を活用し、平和教育のカリキュラムを開発できる。
- (2) 開発した平和の教育カリキュラムを、対象学校（叡智学園「未来創造科」）の文脈に即して教員と協働して改善する。また、同カリキュラムでの学びを評価する規準や方法を構築できる。

## 2. スケジュール

### 第1パート 昨年度の研究成果物と理論的枠組みの把握

#### 第1講（4月12日）

- オリエンテーション，発表分担の調整，決定
- 基礎資料の確認
  - ・ 草原和博ほか「**平和観の再構築とそのメタ認知を促す授業モジュール**」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』67巻，2018年，pp.47-56.
  - ・ Kim, J., & Kusahara, K., **What is the Lasting Impact of the Use of Nuclear Weapons During WWII in Japan?**, Brad M. Maguth, & Gloria Wu. (Eds.). *Global Learning Based on the C3 Framework in the K-12 Social Studies Classroom*, National Council for the Social Studies, (in press).
- ①導入 + ②3時間×6モジュール + ③平和展示批判学習6時間 + ④終結  
= 計30時間（10週程度）

#### 第2講（4月19日）

- C3フレームワークとは何か，先行研究の検討 … M1合同（ppt20枚）
- IDMの理念とブループリントの事例（平和学習）… M2合同（ppt10枚，紙3枚）

#### 第3講（4月26日）… 全員

- 叡智学園訪問，学校カリキュラムの理解
- IDMブループリントに基づく事例（平和学習）の紹介 … M2代表

### 第2パート マクロな視点で「平和」の意味と「平和」の阻害条件を探究する

#### 第4講（5月10日）… 全員

- 「ゲーム理論」を活用したIDM … (A )

**第5講**（5月17日②）

- 「ガルトゥング平和学」を活用した IDM …（B ）

**第6講**（5月17日③）

- 「紛争解決理論」を活用した IDM …（C ）

**第7講**（5月31日）

- 叡智学園訪問→成果報告→意見交換 … M1 代表

**第3パート** ミクロな視点で「平和」の意味と「平和」の阻害条件を探究する

**第8講**（6月7日）

- 「権威主義的パーソナリティ理論」を活用した IDM …（D ）

**第9講**（6月21日②）

- 「ラベリング理論」を活用した IDM …（E ）

**第10講**（6月21日③）

- 「公正的正義理論」を活用した IDM …（F ）

**第11講**（6月27日）※

- 叡智学園訪問→成果報告→意見交換 …M1 代表

**第4パート** 「平和」の意味を解体し、「平和」の意味を再構築する

**第12講**（7月4日）※

- 「ディスコース分析」を活用した平和展示学習 IDM …（G ）

**第13講**（7月12日）

- 導入+終結，カリキュラム全体の構造 … D123 合同

**第14講**（7月19日）

- 評価の規準，基準，方法 …（H ）

**第15講**（7月26日）

- 叡智学園訪問→成果報告→意見交換 …M1 &D 代表

※1：5月24日，6月14日は，休講とします。

※2：6月27日は木曜日午後，7月4日は木曜日5コマ目に実施します。

※3：叡智学園を訪問時の基本スケジュール

広島大学 12 時出発

安芸津港 12 時 55 分-大西港 13 時 30 分のフェリーに乗る

13:50-14:45 5 限 … 授業観察

14:50-15:45 6 限 … 協議

大西港 16 時 45 分-安芸津港 17 時 20 分のフェリーに乗る

広島大学 18 時到着

### 3. 評価の観点

- 発表内容の完成度（論理性，具体性，実効性など） … 60%
- 協議へのコミットメント（質問，助言，論点整理など） … 20%
- 学校でのプレゼンテーション（概念化，文脈性，説得力など） … 20%

なお，授業での議論をより豊かなものにするためには，「予習」は不可欠である。

### 4. 連絡先

- 研究室： A404 草原研究室，TEL&FAX：082-424-6800
- 電子メール： kusahara@hiroshima-u.ac.jp
- ホームページ： <http://home.hirosima-u.ac.jp/kusahara/kusalab/>

### 大学院の授業とは何だろうか…

1 つの「プロジェクト」に従事し，完遂することで，

#### ① Teacher として:

自分が，社会科をより高次で教えることができる  
「授業の分析・開発・省察の能力」（プロフェッション）

#### ② Teacher Educator として:

他者が，社会科をより高次に教えることができる  
「教師教育の能力」（メンターシップ，リーダーシップ）

#### ③ Teacher Researcher として:

自他の社会科のカリキュラム・授業を研究することができる  
「規範的・理論的研究」「開発的・実践的研究」「実証的・経験的研究」  
文献やデータを検討し，論文を執筆，発表するための「発想・作法」と「スキル」  
（研究の法論，アカデミックライティング）

これら①②③を同時に育成することを目指します。

◎ すなわち，教社大学院の使命は，①教師，②教師教育者，③実践的研究者，を三位一体的に育成するところにあります。

- ・「社会認識教育方法学特講」は，主に③に焦点化して，
- ・「教科教育学の実践的展開と検証」は，主に①に焦点化して，
- ・学部授業の「TA」及び「教職授業プラクティカム」は，主に②に焦点化して指導します